

デンソー山岳部 09年 冬山合宿報告書

山城 北八ヶ岳 北横岳～天狗岳
 日程 平成21年12月26日～29日(予備日1日)

メンバー

金子 清(CL) 山田 明(SL・装備) 芦田 直之(食料・会計) 町田 修(渉外)
 亀山 誠(気象) 渡辺 勝利(医務) 津田 廣一(記録)



【天狗岳を望む】

12/26(土)曇り後晴れ

6:10刈谷発 10:00ピラタスロープウェイ駐車場 11:40坪庭発(ロープウェイ頂上駅)
 12:35横岳ヒュッテ 13:05北横岳山頂上 13:30横岳ヒュッテ 14:20坪庭
 14:50坪庭発 15:00テン場

早朝6時集合。装備を2台の車へ積み直し出発。夜明けと共に、空が白んでくる。天候は回復基調の筈だが、曇天だ。時折、小雨さえ降っている。回復を期待し車を走らせる。10時にピラタスロープウェイ駐車場へ到着、待合室の一隅を借用し出発準備。切符手配のミスとワカンの爪の安全対策を係員の方に指摘され、私と山田君がロープウェイへ乗り遅れてしまった。今日は北横岳のピストンだけなので、余裕もあり少々遅れは気にならない。腹ごしらえをし、やや遅れて坪庭を出発する。ガスって視界が悪い。偵察時の様にじゃじゃ降りでないだけマシである。荷も必要最低限のサブザックなので楽である。快適に汗もかかず登っていける。時折、晴れ間が覗き、頂上で晴れてくれないかな?と淡い期待を抱いて雪の中を進む。1時間程で横岳ヒュッテ到着、先ずは一本(10分)。行動食を腹へ入れ元気も補給。どんどん高度を稼ぐ。樹林帯を過ぎ、風が強く寒さを感じる様になった。しっかり歩き13時に頂上手前のピークへ。視界はゼロ。寒いので、写真だけ撮って、頂上へ。



横岳ヒュッテで1本

13時5分、北横岳頂上へ、ここも視界ゼロで寒い。握手し写真だけ撮っては、早々に下山。晴れていれば、360度のパノラマだが、偵察の時と同様、残念な結果となった。どんどん歩いて風のない樹林帯へ、登りと同じく横岳ヒュッテで1本(5分)。さらに快調に飛ばし登山口である坪庭へ着く頃になって晴れてきた。坪庭(ロープウェイ頂上駅)で、リュックを入れ直し、少々(10分程)歩いた所で、快適なテン場へ遭遇。全員で肩を組んで整地、テント設営完了。テントの中に入り豪勢にも佐賀牛?とかの高級すき焼き食を食べ、廻りに遠慮する事無く、大宴会をして幸せな1日が終了したのであった。



視界ゼロの北横岳頂上



樹氷の世界

(記 津田)

12/27(日) 晴れ

6:50 坪庭 7:50 五辻 9:45 麦草ヒュッテ 11:15 丸山頂上 11:45 高見石小屋 13:15 中山頂上
14:20 黒百合ヒュッテ

4時起床。合宿で初の試みとなるホットケーキを、全員で試行錯誤しながら調理し朝食とする。思い出深い味となった。V8 テントを撤収するが、ポールが凍り付いており、解体に時間を要した。6:50 に出発する。天気は快晴。ルートにはしっかりと踏み跡が出来ており、ほぼ平坦な道を快適に進む。時折、樹林帯の切れ間から、北アルプス、乗鞍岳、御嶽山、中央アルプスを見渡すことができ、写真を撮りながら景色を楽しむ。やがて五辻に到着し、小屋で休憩を取る。冬山は行動を止めると、あっという間に体が冷えてしまうので、手早く行動食を食べ出



朝焼けの中の出発

発する。冷えた体を温めるため、ピッチを上げて進む。出逢いの辻を通過後、大石峠前で少し雪が深くなる。いよいよラッセルか！期待するも、すぐに終わってしまった。やがて麦草ヒュッテに到着する。若い女性を含む4~5人のパーティーとすれ違い、挨拶を交わす。八ヶ岳は若い女性が入山するので、いい

ものだと考えていると、芦田くんも同じことをつぶやいていた。しばし休憩した後、白駒池へ向かう計画を変更し、黒百合ヒュッテに向けて出発した。ここから中山峠に向けて長い登りが始まる。まずは丸山の頂上を目指す。今迄の平坦ルートとはうって変わって、標高差約200mの急登を息を切らせながら登る。丸山頂上で休憩後、一旦、高見石小屋に下る。高見石小屋で展望台に登り、浅間山、北アルプス、中央アルプスを見ながら記念撮影を行った後、中山頂上に向けて再び登る。標高差250mの長い登りを約1時間掛けて登る。冬山の重い装備を背負っての長い登りはきついが、中山頂上に到着し、本日最高の景色を見た時は、程良い達成感を得ることが出来た。その後、14:30に黒百合ヒュッテに到着し、テントを設営して本日の行動を終了した。本日は約8時間に及ぶ行動だったので、自分達へのご褒美として、小屋でビールを購入し乾杯を交わした。その後テントでしばし歓談し、夕食を食べた後20時に就寝した。



快晴の山 最高で~す

(記 山田)

12/28(月) 雪

8:10 黒百合ヒュッテ(幕営地) 9:10 一本 9:50 東天狗 10:25 西天狗 10:45 コルにて一本
11:50 黒百合ヒュッテ着

6時。「起床！」の声に目を覚ますと、ぱさぱさとフライに軽く粉雪のあたる音がする。雲は重く垂れ込めて、弱い吹雪だ。気温は零下8。うどんを食し、入念に身支度。サブザック、アイゼンありわかんなし、ゴーグル、それに一応ロープなどを持って出発。中山峠を經由し、樹林帯に行く。稜線に出ると、風を感じ雪が顔に当たってくる。残念ながら視界はゼロだ。雪が多く積もっているところは快



東天狗頂上

調、岩稜帯はアイゼンが岩に触れガリガリする。天狗岩を回りこみ、東天狗で一本。吹雪であり、景色は見えないため写真のみ撮って西天狗を目指す。ゴーグルの中が曇ってしまい、歩くのに支障があるためゴーグルを外す。横から目の辺りに雪が入り少し痛みを感じつつ歩く。一人の登山客とすれ違う。軽いアップダウンで西天



西天狗頂上

狗で一本。三角点に触れ、互いに握手、写真(右)撮影後、早々と来た道を引き返す。少し風の弱いコルで10分程度休憩し食糧を補給する。「あれ東天狗は?」「とっくに通り過ぎたよ」という会話が聞かれるほど快調に下りて来た。風の弱い樹林帯に戻るとほっとする。幕営地に戻り、互いに握手。黒百合ヒュッテで500mlのビールを購入。人の少ない時間帯であり、主人の好意でストーブを囲ませてもらい、サラミなどをつまみに乾杯。その後、小屋の前で、ほろ酔い気分の町田氏は、郷里を同じくする還暦の女性と意気投合。その娘とともにテントを訪れてもらい、山談義や身の上話を弾ませた。

(記 芦田)



ゲストを迎えて宴会だ!

12/29(火) 無風快晴

5:00 起床 7:20 黒百合ヒュッテ発 8:00 八方台分岐(15分) 8:55 渋の湯着
タクシー移動 ピラタスロープウェイ駐車場

昨日の曇天と打って変り、素晴らしい晴天である。昨夜のお客さん(鹿児島県出身の母と娘)も元気に天狗岳に向かって出かけて行った。我々も再TRYしたい心を抑えて下山の準備にかかる。下りの雪道は快適で歩きやすい。途中少し休憩を取ったが、約1時間30分で渋の湯に着いた。冬装備を片づけ終わると、時間指定したタクシーがタイムリーに到着しピラタスの駐車場へ向かう。車窓から見える蓼科山や北横岳が濃紺の空にきれいに見える。合宿の汗を流すのは、諏訪の片倉館「千人風呂」。立ち湯と豊富な湯量の温泉と、レストランのかつ丼がおすすめ。湖岸から北西の彼方に見える真っ白な鎧姿の穂高は素晴らしい。お土産に買った諏訪の銘酒「真澄」でも飲みながらしばらく見ていたい気分である。



快晴のロープウェイ駐車場

(記 町田)

< 所見 >

- ・飲序の面々に迎合した付けで体調を崩した渡辺さん、^{ほうほう} ^{てい} 這這の体で中山を登り切り、一切弱音を吐かなかったこと。またのお来しをお待ちしています/V8 マスター 亀金町。
- ・今合宿のお土産は、中山の山頂から見た360度の絶景。北は浅間山と上信越の山々(燧ヶ岳・谷川岳*下山後確認した)。西面は北から妙高・雨飾山。少し下ると北アルプスの山々が雲海の上に浮かぶ。後立山、穂高連峰、大キレットの北には槍の穂先まで確認できた。さらに南に下り、乗鞍・御嶽山と続き中央アルプス・南アルプスが見え隠れする。東面は黒々とした荒船山と秩父の山波が十分に望めた。残念だったのは富士山が見えなかったこと。みなさんに1:200,000 地図の携帯をおすすめする。

*長野・甲府・飯田・高山あたりを常備すると不自由しない/簡略版ならSAガイド:東名・中央道が便利

- ・視界不良とミニラッセルで冬山気分の東西天狗岳 2646m *三角点は西天狗岳が楽しめたこと。

事前偵察が随所で効いていた。

(町田 修)

< 所見 >

参加メンバーはOB、ベテラン・中堅部員で構成され平均年齢50歳の中高年登山となった。

12月上旬は暖冬で雪不足を心配していたが、合宿前の降雪で山はほど良い雪景色となり、冬山合宿を堪能することができた。

今回、若手の参加は無かったが新人担当の努力もあり徐々に育ってきているので今後の合宿が楽しみである。

(金子 清)

< 装備所見 >

今回、冬山で初めてV8 テントを使用したが、装備が多い冬山にもかかわらず、7人に対しても十分な広さがあり、快適なテント生活を送ることが出来た。但し、ポールが凍り付くと解体に時間を要するため、対策が必要である。また、構造が複雑なため、悪天候下での組み立て、撤収は困難と考える。平地合宿で練習し、手際良く作業を行えるようにしておく必要がある。新しいガスバーナーの使用は要注意で、バーナーが温まる前にガスを大量に出した状態で着火すると、バーナー全体に引火することがある。始めは少ないガスで着火を行い、バーナーが十分に温まった後、徐々にガスの量を増やしていく必要がある。また、バーナーの底はねじ止め式になっており、時々緩んでいることがある。緩んだまま着火すると全体に引火するので、着火前にねじの緩みを確認する必要がある。ピーコンは合宿前の御嶽雪上訓練で電池切れにより機能しなかったため、電池を全て新品に交換した。ピーコンの電池切れは命を落とす事に繋がるので、部室から持ち出す際と、使用前は必ず動作確認を実施し、必要に応じて、こまめに電池を交換してください。また、部室に返却する際は、必ず電池を抜いて返却してください。

(山田 明)

< 食料所見 >

- ・初日のすき焼きは、肉 600g は 7 人でちょうど良く、味は大好評だった。
- ・2日目の朝のホットケーキは、インターネットで見つけたレシピにチャレンジした。卵の代わりに練乳、砕いたナッツを入れたものである。粉 450g では量が少ないのと、一人分ずつしか焼けないのが、不評だった。又、ひっくり返すタイミングにコツが必要で、失敗すると焦げたり生のままになる。焦げずに焼けた場合の味は良かった。
- ・うどんやラーメンは、全員で 5 人前で丁度よかった。7 人前だと多すぎる。水は夜のうちに作って置いておくと、朝、雪から溶かすより断然早く沸くので時間を節約できる。
(芦田 直之)

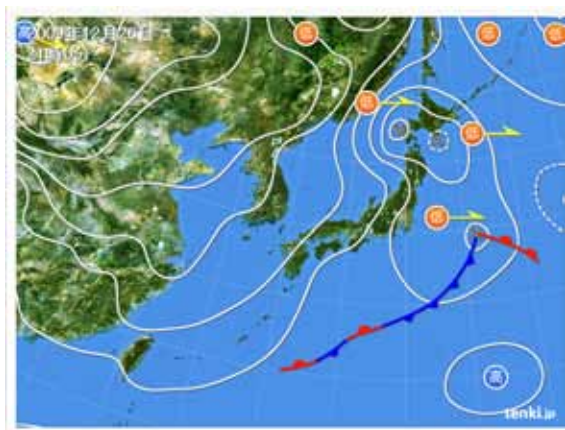
【気象報告】

< 12 / 26 (土) >

坪庭：霧・風強し 北横岳：霧・風強し
坪庭：曇りのち晴れ・風弱し

< 12 / 27 (日) >

晴れ・風弱し (360度視界良好、山岳
展望最高)

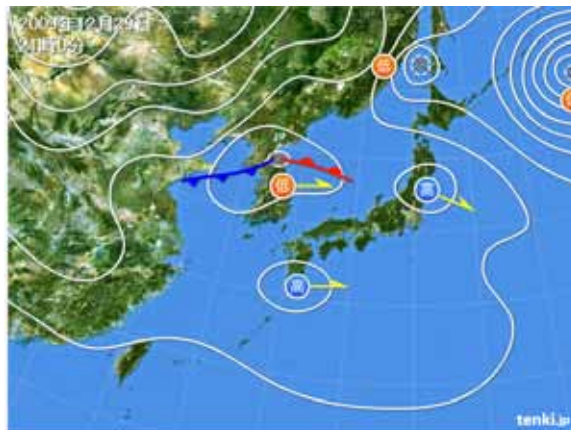
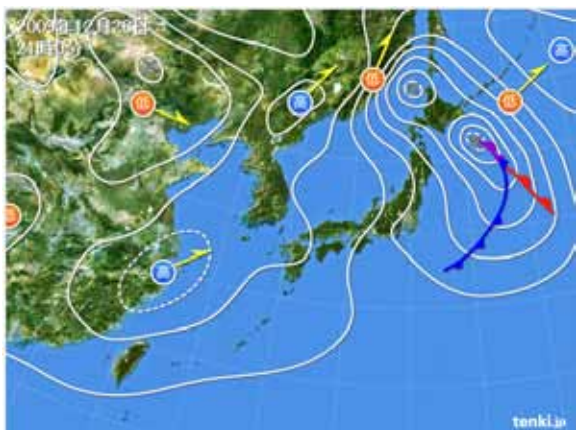


< 12 / 28 (月) >

黒百合平：曇り 天狗岳山頂：霧・風強し
(視界 20m) 黒百合平：曇り (-19度)

< 12 / 29 (火) >

晴れ・風弱し (下界からの山岳風景も最高)



(亀山 誠)

会計報告

収入	会費（芦田以外）(14,000×6名)	84,000
	会費（芦田）	11,200
	忘年会残金	2,200
収入合計		97,400

支出	テント（黒百合ヒュッテ）	14,000
	ビール（黒百合ヒュッテ）	9,100
	ピラタス蓼科ロープウェー	7,200
	アルピコタクシー	8,500
	食料	17,500
	入浴後の食事	5,600
	車（町田号、亀山号）	35,500
支出合計		97,400

(芦田 直之)